

## 応用哲学会第10回年次研究大会（2018年度）発表募集要項

申し込み締め切り：2018年1月15日（月）

大会日時：4月開催予定

※開催校である名古屋大学の会場予約受付が1月初旬であり、〆切前には日程を内定し本募集要項にその旨を追記する。

場所：名古屋大学 東山キャンパス

<http://www.nagoya-u.ac.jp/access/>

### 【一般発表】

- ・発表時間

長時間枠：全体で50分（質疑応答最低12分）

短時間枠：全体で25分（質疑応答最低8分）

\*時間枠は一般発表の数の多寡によって、最終的に変わることもあります。

- ・予稿の分量は1200字-2000字
- ・発表者は会員に限りますが、共同研究者に非会員が含まれてもかまいません。

### 【ワークショップ】

- ・発表時間：質疑応答込みで2時間

\*時間枠はワークショップの数の多寡によって、最終的に変わることもあります。

- ・予稿の分量は1600字-2400字
- \*申し込み方法は一般発表と同様。
- ・オーガナイザは会員に限りますが、その他の提題者は会員である必要はありません。

### 【ポスター発表】

- ・予稿の分量は800字-1600字
- \*申し込み方法は一般発表と同様。
- ・非会員による発表も可能です。

### 【予稿についての注意】

- ・テキスト情報のみ含むことができます。画像等の添付はできません。
- ・日本語と英語の併用は避けてください。（固有名、文献情報、短い引用などは構いません）
- ・匿名審査のため本人が特定できる情報は含めないようにしてください。

### 【発表申し込み方法】

- ・発表を希望される方は2018年1月15日（月）までに申し込みフォームに必要事項を入力して下さい。
- ・大会実行委員会での審査の上、発表の可否を2月中旬にメールでお知らせいたします。
- ・なお審査の結果認められた発表枠が申し込まれた発表枠と異なる場合もあります。

### 【会員の発表資格】

- ・上記の「会員」は、2017年度と2018年度の両年度にまたがって会員資格を持っておられる方を意味します。
- ・発表者には2018年度の会費の納入義務が発生します。
- ・学会入会申し込みと同時に、大会発表申し込みをしていただくことも可能です。

#### 【学会賞】

・審査によって選ばれた発表に対して応用哲学会発表賞が贈られます。受賞候補者は、一般発表の長時間枠に申し込まれた方で、審査対象になることを希望された方に限られます。応募される方は通常の要旨の他に、一次審査用に発表の背景・内容・特徴などについて説明したより詳しい要旨（テキストまたはWord形式）をメールに添付して事務局あてにお送りください。

長さは4000-6000字程度です。その際、学術的意義・説得性・学際性・チャレンジ性等についてのアピールを行っても構いません。冒頭に数行で【全体の概要説明】をつけてください。本資料は応用哲学会発表賞の審査基準に沿って評価されるものです。また専門分野が異なる者にも理解できるよう分かりやすく説明することが推奨されます。

審査の公平性・公正性を高めるため、添付ファイル内には本人が同定できる情報（氏名や所属等）を記載しないでください。なお、本賞への審査希望申請のあった発表については、1次審査用資料から大幅に異なった内容で発表することは認められません。詳細は上記の申し込みフォームに従ってください。

#### 【懇親会】

・2018年度は、酒食を提供する形式での懇親会は実施いたしません。若干の軽食を提供する形でランチタイムに実施する懇親会を考えております。

#### 【大会の運営について】

・本大会も、従来と同様、DO IT YOURSELF方式での運営を行う予定です。

・各会場には基本的に会場係がつかず、プレゼン用のPCも各自ご持参頂き、セッションの運営についてご自分ですべて管理していただくこととなります。この点、なにとぞよろしくご了承ください。